

アクション・プランを実現するための提案書
～ (仮称)「秩父市しごと相談コーナー」の設置について ～

1 秩父市の現状

- ① 地域経済を支える企業の業績不振
秩父太平洋セメント(株)やブリヂストンスポーツ(株)の生産規模の縮小
- ② 中心市街地の空洞化
郊外型大型店の進出と中心市街地にあった大型商業施設の倒産
- ③ 長期化する雇用情勢の低迷
平成 23 年 1 月 秩父地域内の有効求人倍率 0.50 倍
- ④ 2010 年国勢調査速報値では、県内市町村で人口減少人数が最大
- ⑤ 東北関東大震災による企業生産活動への影響

2 市民の要望

平成 22 年 3 月の市民満足度調査より

「雇用の促進」 = 市民が最も重要視し、最も満足をしていない項目
⇒ 求職者を就職に結びつけることが要望に応えることになる。

3 提案の概要及び理由

当市では、「就労支援」及び「子育て支援」の一環として、職業・内職相談員(嘱託員)を任用して、内職の斡旋を行っている。「子育て中のため、外に働きに出られない。」「働ける時間が短い。」「自分の時間で働きたい。」「内職をすることで就労訓練をしたい。」など様々な要求に応じて来た。しかし、低迷する雇用情勢を反映し現状では、生活費を得るために内職を求める方や男性からの相談もある状況となっている。

一方、求人开拓員(嘱託員)を任用して、事業所を訪問することで内職求人开拓を行っている。求人交渉においては、事業主は常に経営支援情報等を欲している状況にある。

そこで、「働くこと」に関する市民要望に一元的に対応するため、「職業・内職相談業務」を強化し、国と一体となって、市が、(仮称)「しごと相談コーナー」を設置したい。

そこで、相談者の「働くことへの要望」を木目細やかに把握し、「働く目的、時間、意識等」に応じて、内職斡旋、職業紹介、職業訓練情報提供などすることで、相談者毎に適切な対応を図って行きたい。

さらに、事業所側に対しても、支援となる情報の提供を行うことのできる体制づくりにも取り組みたい。

実施に当たっては、運営協議会を設けて秩父市と埼玉労働局が密接に連携し、お互いの信頼関係の下に相互に要請をし合って、より住民の福祉の増進に資する方向で協力関係を構築したい。

4 業務内容

○秩父市

- ① (仮称)「しごと相談コーナー」の設置
- ② 職業・内職相談員の配置
- ③ 職業相談の実施
- ④ 相談者の実情に基づき、内職求職者登録 内職斡旋 ⇒ 就職
⇒ ハローワークへの情報のつなぎ(国と一体化)
⇒ 若者ジョブ・ナビゲーションへの情報のつなぎ
- ⑤ 求人開拓員の配置(商工課)
- ⑥ 事業所への事業所支援情報の提供
- ⑦ 社会福祉事務所等による、就労支援情報の収集・提供

○国

- ① 「しごと相談コーナー」の職業・内職相談員と連携して職業相談の実施
- ② 相談者の実情に基づき、求人登録、職業紹介(一般、パート) ⇒ 就職
⇒ 職業訓練等の支援情報の提供
- ③ 求人開拓員(市)への事業所支援情報の提供
- ④ 社会福祉事務所等への就労支援情報の提供
- ⑤ 求人検索機器の設置

5 設置の場所

秩父地域地場産業振興センター3階を予定している。

理由： 現在「ちちぶパートバンク」及び「秩父市職業内職相談コーナー」が設置されている場所を引き続き使用することで、市民の便宜を図りたいため。

なお、使用料等費用負担については、現状と同様の負担を要望する。